

JP2055669U Abstract of the Disclosure

This invention discloses an automatic tape dispensing device.

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-55669

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

序内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)4月23日

B 65 H 35/07

I  
H

8712-3F  
8712-3F

審査請求 有 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 考案の名称 テープカッター

⑯ 実 願 昭63-132813

⑰ 出 願 昭63(1988)10月13日

⑱ 考 案 者 清水 俊 政 東京都足立区千住元町39番8号 ヤエス精工工業株式会社内

⑲ 出 願 人 ヤエス精工工業株式会社 東京都足立区千住元町39番8号

⑳ 代 理 人 弁理士 大賀 貴二 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

ケーシングに接着テープを回転自在に収容し、この接着テープの引出し端をその接着面に接触し、始めに案内するガイドローラを軸支し、その案内テープの引出し端の先端部を接着面の反対面にばね圧で接触する押えローラを軸支し、押えローラと対応するテープ受けとを有する可動操作棒を設け、これをケーシングにテープに対して接線方向と平行に摺動自在であると共にばね圧で常時ケーシングのテープ繰り出し口側へ付勢して摺動可能に設け、さらに可動操作棒の先端には操作長孔を、摺動方向と横断方向に設け、ケーシングの繰り出し口の内側に軸支される回転刀の操作ピンと前記操作長孔とを係合させ、押えローラより先端部に引き出されたテープの引出し端を接着してケーシング内方よりテープを引き出し接着すると共に、可動操作棒を内方へ操作摺動して回転刀を回転し、押えローラの外側で引出しテープを自動的に切断することを特徴とするテープカッター。

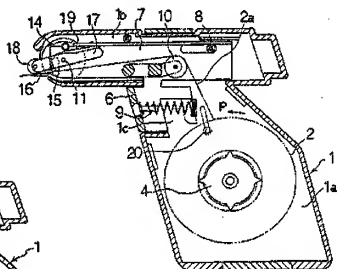
図面の簡単な説明

図面はこの考案の実施例を示すものであつて、

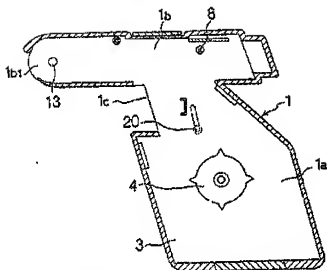
第1図は接着テープをセットした状態の縦断面図、第2図はケーシング本体の内側断面図、第3図は全体の正面図、第4図は可動操作棒単体の側面図、第5図は回転刀の単体側面図、第6図はテープを繰り出し貼着作業時の一部切欠き側面図、第7図は同じくテープ切断直前状態の縦断面図、第8図は同じくテープ切断直後の縦断面図である。

1……ケーシング、1a……柄部、1b……繰り出し部、1c……先端側壁、1d……操作部配置部、2……接着テープ、2a……引出し端、3……蓋身、4……リール、5……繰り出し口、6……操作部、7……可動操作棒、7a……先端側壁、7b……先端底壁、8……規制油、9……コイルばね、10……ガイドロール、11……支軸、12……操作長孔、13……支軸、14……回転刀、15……操作ピン、16……テープ受け、17……押えレバー、18……押えローラ、19……ばね、20……ロック鉤、21……操作部係止爪、22……ガイド孔。

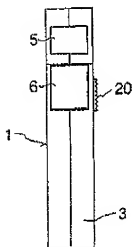
第 1 図



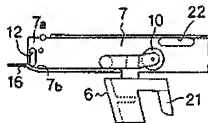
第 2 図



第 3 図



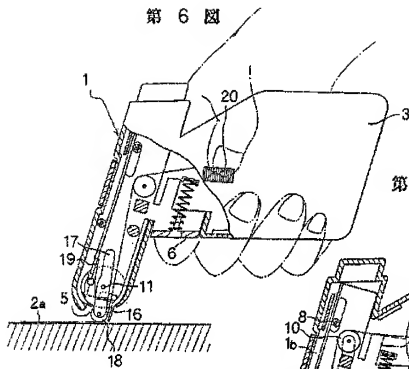
第 4 図



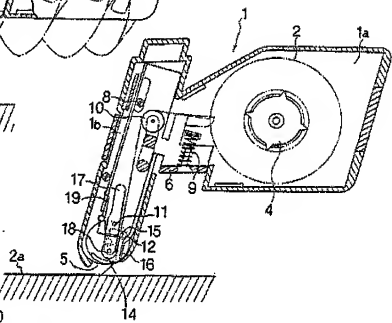
第 5 図



第 6 図



第 7 図



第 8 図

